

『赤い鳥』創刊100年記念・与田準一記念館学習会

与田と巽と義美



— 回覧雑誌『棕櫚』と赤い鳥童謡会 —



ことりは
とつても
うたが
すき



平成30年 **3月24日(土)**

開場13:30 開演14:00

- 入場無料
- どなたでも参加できます

みやま市立図書館2階 「多目的ホール」

講師：青木文美氏 愛知淑徳大学准教授：与田準一記念館監修

「小鳥の歌」、「たき火」、「犬のおまわりさん」。広く知られるこれらの童謡の作詞者である与田準一、巽聖歌、佐藤義美は、互いに連絡を取り合い、昭和2年、回覧雑誌『棕櫚』を出し始めた。彼らを結びつけたのは、100年前、近代童謡の夜明けをもたらした児童雑誌『赤い鳥』。白秋の指導を受けた、個性豊かな三人が描く人間模様を織り交ぜながら、大正童謡から昭和童謡への脱皮を目指す彼らの活躍に焦点を当てる。

連絡先：みやま市立図書館 TEL 0944-64-1117